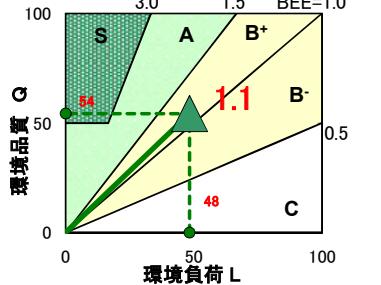
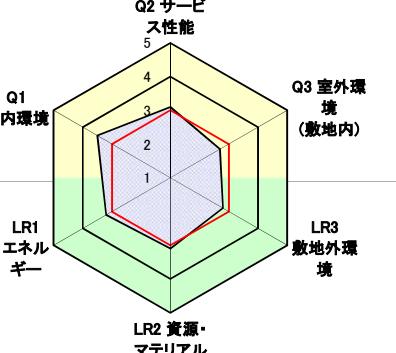


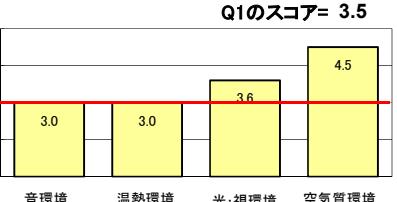
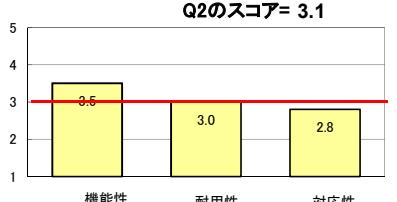
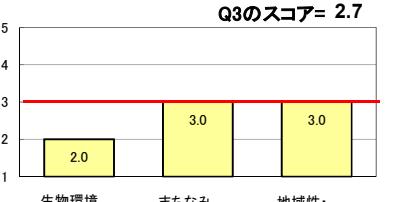
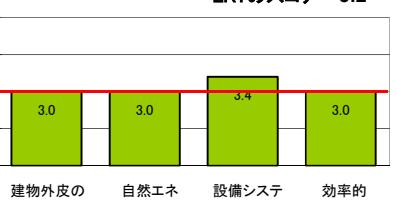
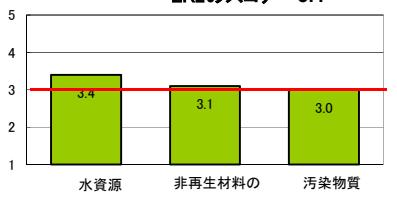
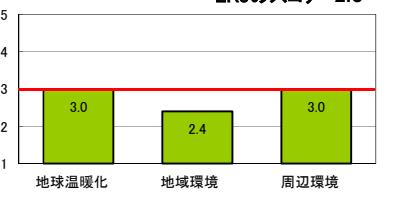
CASBEE® 名古屋

■使用評価マニュアル: CASBEE 建築審査2016年版、CASBEE 建築環境総合性能評価マニュアル2016

評価結果

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|------------------------------------|--------|----------------|
| 建物名称 | (仮称)中村区黄金通五丁目計画 新築工事 | 階数 | 地上8F |
| 建設地 | 愛知県名古屋市中村区黄金通五丁目3番、4番2、5番、6番、7番、8番 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 防火地域、準防火地域 | 平均居住人員 | 80人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 8,760時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 集合住宅, | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2024年3月 予定 | 評価の実施日 | 2023年1月19日 |
| 敷地面積 | 995 m ² | 作成者 | |
| 建築面積 | 394 m ² | 確認日 | 2023年1月25日 |
| 延床面積 | 2,287 m ² | 確認者 | |

| 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) | | 2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート) | | 2-3 大項目の評価(レーダーチャート) | |
|--|--|---|------|----------------------|--|
| = BEE1.1 ★★★★☆ | A: ★★★★☆ B+: ★★★★ B: ★★★ B-: ★★ C | ★★★☆☆ 100%超 : ★★★ 100% : ★★★★ 80% : ★★★★★ 60% : 30% | 標準計算 | Q2 サービス性能 | |
|  |  |  | | | |
| | | このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO ₂ 排出量の目安で示したものです。 | | | |

| 2-4 中項目の評価(バーチャート) | | Q のスコア = 3.1 | |
|---|---|---|---|
| Q 環境品質 | Q1 室内環境 | Q2 サービス性能 | Q3 室外環境 (敷地内) |
| Q1のスコア = 3.5 | Q2のスコア = 3.1 | Q3のスコア = 2.7 | LR のスコア = 3.0 |
|  |  |  |  |
| LR 環境負荷低減性 | LR1 エネルギー | LR2 資源・マテリアル | LR3 敷地外環境 |
| LR1のスコア = 3.2 | LR2のスコア = 3.1 | LR3のスコア = 2.8 | LR3のスコア = 2.8 |
|  |  |  | |

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|---|--------------------------|------------------------|
| 総合 | その他 | |
| 節湯器具、節水型トイレ採用し、省エネルギー環境に配慮した。 | ●特になし。 | |
| Q1 室内環境 | Q2 サービス性能 | Q3 室外環境 (敷地内) |
| ●シックハウス対策としてF☆☆☆☆を全面的に採用。節水型トイレ、エナファーム、節湯器具を採用。 | ●特になし。 | ●できる限り緑化採用に配慮した。 |
| LR1 エネルギー | LR2 資源・マテリアル | LR3 敷地外環境 |
| ●省エネルギー設備に配慮した。 | ●ハロン消火剤を使用せず、地球温暖化に配慮した。 | ●屋上広告を一切なくし、光害対策に配慮した。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフケイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目スコア・結果シート

(仮称)中村区黄金通五丁目計画 新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル
 ■評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

| 重点項目 | 評価 | 全体に対する重み係数 | 重点項目スコア |
|-------------------------|-----|------------|------------|
| 1. 温暖化対策 | | | 3.1 |
| LR1 エネルギー | 3.2 | 0.4 | |
| LR3.1 地球温暖化への配慮 | 3.0 | 0.1 | |
| LR3.2.2 溫熱環境悪化の改善 | 2.0 | 0.05 | |
| 2. 自然共生 | | | 2.3 |
| Q3.1 生物環境の保全と創出 | 2.0 | 0.09 | |
| Q3.3.1 地域性への配慮、快適性の向上 | 無 | 0.009 | |
| Q3.2 まちなみ・景観への配慮 | | | |
| Q3.3.2 敷地内温熱環境の向上 | 3.0 | 0.045 | |
| 3. 循環型社会 | | | 3.1 |
| LR2.1 水資源保護 | 3.4 | 0.06 | |
| LR2.2 非再生性資源の使用量削減 | 3.1 | 0.18 | |
| LR3.2.3 地域インフラへの負荷抑制 ※2 | 2.7 | 0.01875 | |

結果

1. 温暖化対策

評価点 = 3.1



2. 自然共生

評価点 = 2.3



3. 循環型社会

評価点 = 3.1



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。